LG
Life's Good

取扱説明書

UltraGear™

(LEDモニター*)

*LG の液晶モニターはLED バックライトを採用したLCD 製品です。
このたびはLG製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

27GS85Q　27GS85QX
32GS85Q　32GS85QX

www.lg.com

Copyright © 2021 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

目次

ライセンス 2
オープンソースソフトウェアのお知らせ 3
組み立てと準備 3
モニターの接続 13
ユーザー設定 16
トラブルシューティング 22
製品仕様 25

ライセンス

サポートされているライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、*www.lg.com*を参照してください。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

SuperSpeed USB Tridentロゴは、USB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。

VESA、VESAロゴ、DisplayPort Complianceロゴ、DisplayPort Complianceロゴ（デュアルモード ソース用）はすべて、Video Electronics Standards Associationの登録商標です。

オープンソースソフトウェアのお知らせ

本製品に実装されているGPL、LGPL、MPLおよびその他のオープンソースライセンスに基づく開示義務を有するソースコードの入手は *http://opensource.lge.com* / のWebサイトをご覧ください。

ソースコードと共に、該当するすべてのライセンス内容および著作権表示をダウンロードすることができます。また、弊社は有料でCD-ROMによりオープンソースコードを提供しています。料金にはCD-ROMの代金、送料、取扱手数料が含まれます。ご希望される場合は、*opensource@lge.com* まで電子メールでお問い合せください。

本サービスは、弊社が本製品を販売後3年間、本情報を受け取られたすべての方に対して有効です。

組み立てと準備

⚠ 注意

- 製品を安全に長くお使いいただくため、付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 付属品の使用をお勧めします。
- 付属品以外の使用により発生した破損や負傷は、保証の対象外になります。
- 本書のイラストは一般的な手順を図解したものであり、実際の製品とは外観が異なる場合があります。
- 製品を組み立てる際、ネジに油や潤滑油などを使用しないでください。（製品が故障する可能性があります。）
- ネジを留める際、過度な力で締めるとモニターが破損するおそれがあります。過剰なネジの締め付けによる破損は保証の対象外になります。
- モニターを上下逆さにした状態でスタンドベースをつかんで持ち運ばないでください。モニターがベースから外れて落ち、けがをするおそれがあります。
- モニターを持ち運ぶ場合は、モニターの画面に触れないでください。モニター画面に力を加えると、画面が破損するおそれがあります。
- 一般的なコーティング方法とは異なり、外観に波紋パターンが見えることがありますが、これは、原材料に光沢剤を添加しているためです。塗装がはがれることなく、耐久性が向上します。製品の使用に全く問題はありませんので、安心してご使用ください。

ヒント

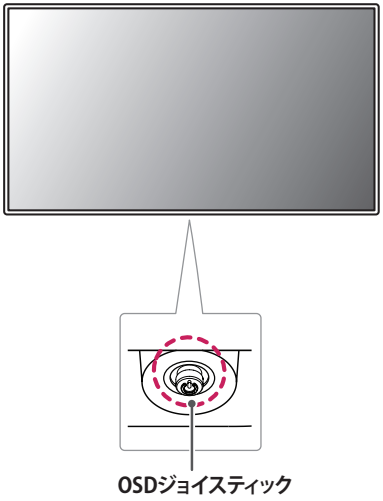
- イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の予告なしに変更されることがあります。
- 付属品以外の部品をお求めになる際は、本製品を購入した販売店またはパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。
- 付属の電源コードは、国や地域によって異なります。

サポートされているドライバーとソフトウェア

LGEのWebサイト（*www.lg.com*）から、最新バージョンをダウンロードしてインストールできます。

- モニタードライバー / OnScreen Control

製品とボタンの説明



OSDジョイスティックの使用方法

ジョイスティックを指で押したり、上下左右に倒すことでモニターの各種機能を簡単に操作できます。

基本機能

A	B	C	D
			

A（電源オン）：OSDジョイスティックを指で押すと、モニターの電源がオンになります。

B（電源オフ）：OSDジョイスティックを指で押し続けると、モニターの電源がオフになります。

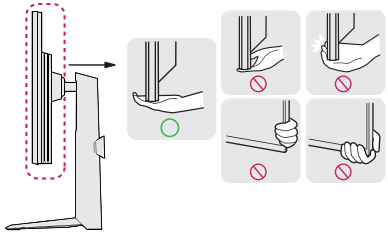
C（音量制御）：OSDジョイスティックを左右に倒すと音量を調整できます。

D（画面輝度の制御）：ジョイスティックを上下に倒すと画面の明るさを調整できます。

モニターの持ち運び

モニターを持ち運ぶ場合は、モニターの損傷や破損を防いで安全に運搬できるように、以下の指示に従ってください。

- モニターの梱包に使用されていた箱や梱包材に再梱包してモニターを運ぶことをおすすめします。
- モニターを持ち運ぶ前に、電源コードおよびその他すべてのケーブルを取り外してください。
- モニターのフレームの側部および下部をしっかりと持ちます。パネル自体はつかまないでください。
- モニターを持ち運ぶ際は、液晶パネル（画面）に触れないようモニターの背面を持って、画面に傷を付けないようにしてください。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニターに強い衝撃を与えたり、過度な振動を与えないでください。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニターを垂直にして持ち、横にしたり左右に傾けたりしないでください。



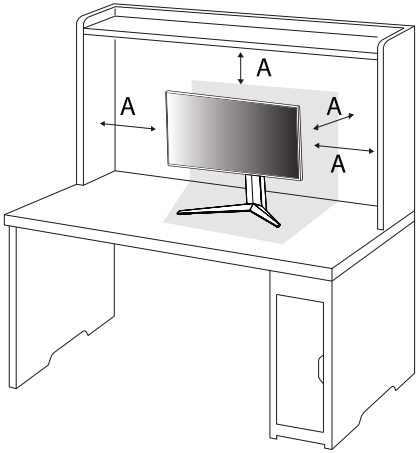


⚠ 注意

- 液晶パネル（モニターの画面）には触れないでください。
  - 画面に傷が付いたり、液晶が損傷する恐れがあります。
- モニターの底面にOSDジョイスティックがあるため、スタンドを使用しないとモニターの転倒によって、モニターの破損や負傷の原因になります。また、OSDジョイスティックが故障する原因になります。

テーブルへの設置

- モニターを持ち上げ、直立させた状態でテーブルの上に置きます。十分な通気性を確保するため、背後および周囲10cm 以上の空間を空けて設置してください。



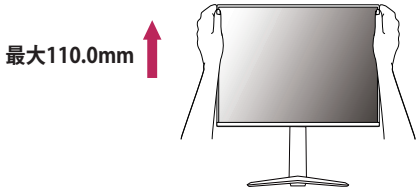
A：10cm

⚠ 注意

- モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電のおそれがあります。
- 必ず製品付属の電源コードを使用してください。コードをアース付きコンセントに接続してください。
- 別の電源コードが必要な場合は、最寄りの販売店または小売店にお問い合わせください。

スタンドの高さの調整

1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
2 モニターの左右背面側に手を添えて高さを調整します。(液晶パネルには触れないようにしてください。)



⚠ 警告

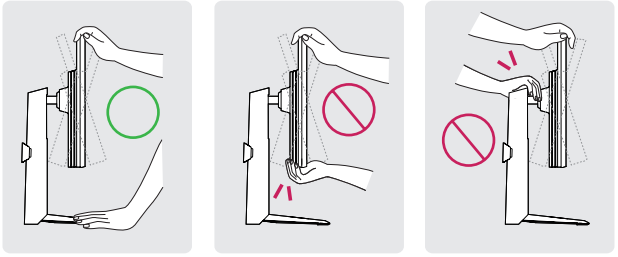
- 画面の高さを調整するとき に、画面とスタンドベースの間に手を置くと、はさんでケガをするおそれがあります。スタンドベースの上に手を置かないようにしてください。

角度の調整

1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
2 画面の角度を調整します。
快適に視聴できるように、画面の角度を前後に -5°から 15°の範囲で調整できます。

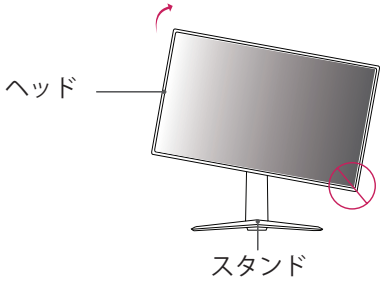
⚠ 警告

- 画面を調整するときは、下図のようにモニターのフレームの下部をつかまないでください。指をはさむおそれがあります。
- モニターの傾きを調整するときに、液晶パネルに触れたり、押したりしないように注意してください。



ピボット機能

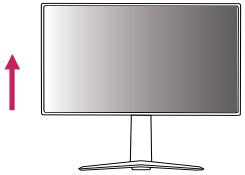
ピボット機能により、モニターを時計回りに90°回転できます。



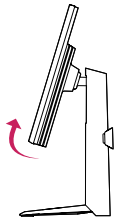
⚠ 警告

- ピボット機能を使用してモニターを回転する際は、製品が傷つかないよう、スタンドベースとモニターが接触しないように注意してください。
- ピボット機能を使用するときは、過度な力をかけないでください。
  - 本体がスタンドと接触し、ベース部分がこすれるおそれがあります。
  - 本体とスタンドの間に指を挟んで、けがをしないように注意してください。

1 モニターの高さを一番上まで上げます。



2 図のように、モニターが上を向くように角度調整します。



3 モニターを時計回りに回転します。



4 モニターを90°回転させて、角度、高さを調整します。



⚠ 警告

- ヘッドと机の間に指を挟んで怪我をする恐れがありますので、ご注意ください。

ヒント

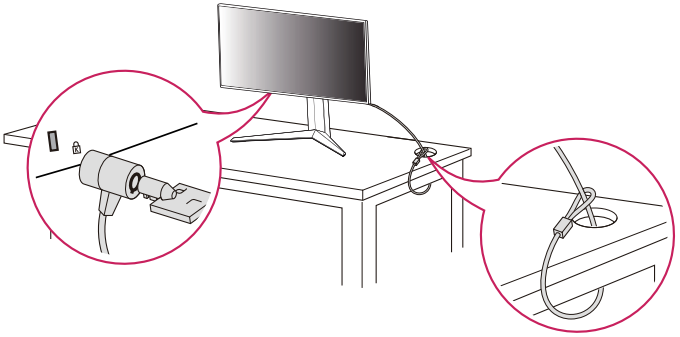
- オートピボット機能はサポートしていません。
- Windowsには、表示内容を回転するためのショートカットキーが割り当てられています。この機能を使用すれば、表示内容を簡単に回転できます。ただし、Windowsのバージョンやグラフィックカードドライバーによっては、ショートカットキーの割り当てが異なっている場合や、サポートされていない場合があります。
- Windowsは、以下のショートカットキーで表示内容を回転できます。
  -0°：Ctrl + Alt + 上向き矢印（↑）
  -90°：Ctrl + Alt + 左向き矢印（←）
  -180°：Ctrl + Alt + 下向き矢印（↓）
  -270°：Ctrl + Alt + 右向き矢印（→）

ケンジントン(Kensington)ロック

ケンジントンロックを利用することにより盗難防止の効果があります。
ケンジントンロック用のスロットは、モニターの底面にあります。取り付けと使い方の詳細については、ケンジントンセキュリティシステム付属の取扱説明書を参照するか、ケンジントン社ホームページをご覧ください。

ケンジントンロックのケーブルでモニターをテーブルに固定します。

ケンジントン社ホームページ:http://www.kensington.com

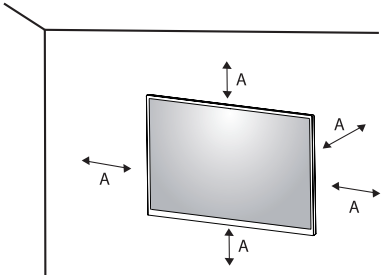


ヒント

- ケンジントンロックは別売です。お求めになる際はパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。

壁への取り付け

壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具(非同梱です。別途ご用意ください。)を取り付けます。
十分な通気性を確保するため、モニターは壁から10cm以上離して取り付け、モニターの上下左右それぞれ10cm以上の空間を空けてください。詳しい設置手順については、製品をお求めになった販売店にお問い合わせください。傾斜付き壁掛けプレートの取り付け方法については、取扱説明書を参照してください。



A:10cm

壁掛け金具を取り付ける

モニターを壁に取り付ける場合は、壁掛け金具（非同梱です。別途ご用意ください。）をモニターの背面に取り付けます。

壁掛け金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

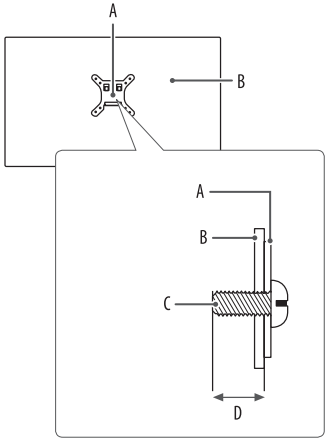
- 壁掛け（mm）：100 x 100
- 標準ネジ：M4 x L10
- ネジの本数：4
- 壁掛け用プレート（オプション）：LSW149

ヒント

- VESA規格で指定されているネジを使用します。
- 壁掛けに必要な部品や、マニュアルは壁掛け金具に付属されています。設置に関する詳細は、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。
- 壁掛け金具は別売です。お求めになる際はパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。
- ネジの長さは、壁掛け金具によって異なります。適合しないネジを使用すると、モニターの内部が損傷するおそれがあります。
- 詳細については、壁掛け金具の取扱説明書を参照してください。
- 壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
  ネジが標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
- モニターを壁に設置する前に、スタンドの取り付け手順と逆の手順でスタンドを取り外してください。

⚠ 注意

- 移動や設置は先に電源コードと信号ケーブルを外してから行ってください。ケーブルを取り外さずに移動、設置すると落下してケガや感電のおそれがあります。
- モニターを天井や傾斜のある壁面に取り付けると、モニターの落下によって重大な事故に繋がる恐れがあります。設置については、LG純正の壁掛け用ブラケットを使用し、販売店または資格を有する業者にご相談ください。
- けがをしないように、設置手順に従って本製品を壁にしっかり取り付けてください。
- ネジを留める際、過度な力で締めるとモニターが破損するおそれがあります。過剰なネジの締め付けによる破損は保証の対象外になります。
- VESA規格に準拠した壁掛け金具とネジを使用してください。規格に適合しない部品の使用、取り付けの不備による製品の破損、負傷については保証の対象外になりますので、十分ご注意の上、作業してください。
- 壁掛け用のネジ穴の深さは最大8mmです。



A:壁掛け用プレート
B:モニターの背面
C:標準ネジ
D:最大8mm

モニターの接続

- 本書で使用されるイラストはイメージです。実際の製品とは若干異なる場合があります。

OSDジョイスティックを押して、[設定] > [入力]を開き、入力オプションを選択します。

⚠ 注意

- 弊社推奨品以外の汎用ケーブルを使用すると、画面が映らなかったり映像が正しく表示されない場合があります。
- 液晶パネルに触れないでください。映像が乱れることがあります。
- 長時間同一の画像を表示させ続けると、画面に焼き付きが発生することがあります。画面の焼き付きについては保証の対象外になります。焼き付きを防止するために、OSでスクリーンセーバーを設定することをお勧めします。
- 電源コードをコンセントに接続する際は、アース付きマルチタップまたはコンセントをご使用ください。
- 温度が低い場所で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されるこ とがありますが、これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。

PCへの接続

- モニターは Plug and Play* 機能に対応します。

* Plug and Play：PC に機器を接続して電源を入れると、設定や操作をしなくても、PC で認識してOS の標準ドライバがインストールされます。

HDMI接続

PCからモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。

⚠ 注意

- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- HDMIケーブルは、HDMI Licensing Administrator, Inc. で認証されたHDMIロゴのあるものを使用してください。認証を受けていないものやハイスピードに対応していないケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次のHDMIケーブルのご使用を推奨します
  - ハイスピードHDMI®/™ケーブル
  - イーサネット対応ハイスピードHDMI®/™ケーブル

DisplayPort接続

PCからモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。

ヒント

- PCのDisplayPortのバージョンによっては、映像または音声に対応していないことがあります。
- 付属品のDisplayPortケーブルを使用してください。付属のケーブル以外を使用すると、誤作動の原因になることがあります。
- Mini DisplayPort出力を実装したグラフィックカードまたはPCと接続する場合は、DisplayPort 1.4に対応した Mini DisplayPort - DisplayPortケーブルまたは、変換コネクタを使用してください。(ケーブル、コネクタは非同梱です。別途ご用意ください。)

AV機器の接続

HDMI接続

AV機器からモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。

注意

- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- HDMIケーブルは、HDMI Licensing Administrator, Inc. で認証されたHDMIロゴのあるものを使用してください。認証を受けていないものやハイスピードに対応していないケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次のHDMIケーブルのご使用を推奨します
  - ハイスピードHDMI®/™ケーブル
  - イーサネット対応ハイスピードHDMI®/™ケーブル

周辺機器の接続

USBデバイスの接続

USBダウンストリーム端子は、USBハブとして機能します。
USBハブを使用する場合は、付属のUSBケーブル(A-Bタイプ)で、PCとモニターのUSBアップストリーム端子に接続してください。
USBダウンストリーム端子に接続されたキーボードやマウスなどの入力機器でPCを操作したり、USBストレージのデータを接続することができます。

ヒント

- Windowsの最新のアップデートプログラムを適用してから接続することをお勧めします。
- 周辺機器は別売です。
- キーボード、マウスなどのUSBデバイスをUSBダウンストリーム端子に接続できます。
- ダウンストリーム端子に接続したデバイスの充電が可能です。充電速度はUSBデバイスによって異なります。

注意

- USBデバイス使用時は次のことに注意してください。
  - 自動認識プログラムがインストールされているUSBデバイスや独自のドライバーを使用するUSBデバイスの場合、デバイスが認識されないことがあります。
  - 一部のUSBデバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
  - 電源のあるUSBハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします。(供給電力が十分でない場合、USBデバイスが正しく認識されないことがあります。)

ヘッドホンの接続

ヘッドホン端子（ミニプラグ）に、ヘッドホン、イヤホン、スピーカーなどを接続できます。

ヒント

- 周辺機器は非同梱です。別途ご用意ください。
- PC および外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンおよびスピーカーの機能が制限されることがあります。
- オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧めします。L字型のコネクタの場合、モニターの筐体と干渉して差しこめなかったり、他の端子をふさいでしまう場合があります。



L字型タイプ



ストレートタイプ
（推奨）

ユーザー設定

ヒント

- 実際のモニターのOSD（オンスクリーンディスプレイ）は、アップデート等により、本書の内容と変わる場合があります。

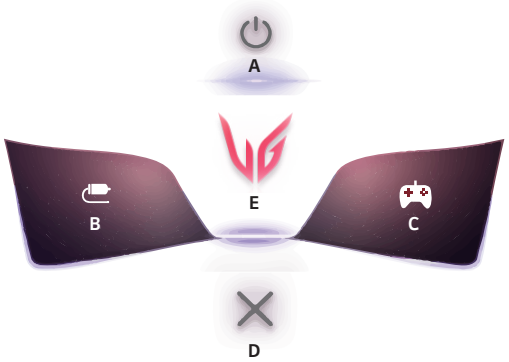
メインメニューの表示



OSDジョイスティック

1 モニターの底面にあるOSDジョイスティックを押します。
2 OSDジョイスティックを上下左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
3 OSDジョイスティックをもう一度押すとメインメニューが終了します。

メインメニューの機能



メインメニュー	説明
A:[電源オフ]	モニターがオフになります。
B:[入力]	表示させる入力端子を選択します。
C:[ゲーミングモード]	ピクチャーモード をゲームのジャンルに合わせたモードに変更することができます。
D:[終了]	メインメニューを終了します。
E:[設定]	モニターの各種設定メニューを表示します。

メニュー設定

1 OSD メニューを表示するには、モニターの下にあるOSDジョイスティックを押して [設定] を開きます。
2 OSDジョイスティックを上下左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
3 一つ前に戻るか、別のメニュー項目を設定するときは、OSDジョイスティックを◀の方向へ倒すか、OSDジョイスティック(⏻)を押します。
4 OSDメニューを終了する場合は、終了するまでOSDジョイスティックを ◀の方向へ倒します。



[ゲーミングモード] [ゲーム機能設定] [画像調整] [入力] [全般]

[ゲーミングモード]

[設定] > [ゲーミングモード]

SDR (非 HDR) 信号での [ゲーミングモード]

- [ゲーマー 1]/[ゲーマー 2]:[ゲーマー 1]と[ゲーマー 2]のピクチャーモードでは、ゲーム関連のオプションを含むカスタマイズされたディスプレイ設定を2セット保存できます。
- [FPS]:FPS(First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。暗いシーンでも見やすくなるよう調整されています。
- [RTS]:RTS(Real Time Strategy)ゲームに最適化されたモードです。
- [鮮やか]:明るさ、コントラスト、シャープネスの値を強めて、鮮明な画質で表示します。
- [ブルーライト低減モード]:画面表示を紙のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューで「明るさ」の調節ができます。
- [HDR効果]:通常の映像 (SDR) を HDR に近い画質で表示します。
- [sRGB]: モニターやプリンターで標準化されるRGB色空間を適用します。
- [色覚調整]:P 型及び D 型の色覚用のカラーモードです。赤色、緑色の表示を区別できるように配色されます。

HDR 信号での [ゲーミングモード]

- [ゲーマー 1]/[ゲーマー 2]:[ゲーマー 1]と[ゲーマー 2]のピクチャーモードでは、ゲーム関連のオプションを含むカスタマイズされたディスプレイ設定を2セット保存できます。
- [FPS]:FPS(First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。暗いシーンでも見やすくなるよう調整されています。
- [RTS]:RTS(Real Time Strategy)ゲームに最適化されたモードです。
- [鮮やか]:明るさ、コントラスト、シャープネスの値を強めて、鮮明な画質で表示します。

ヒント

- OS(Windows 10)の設定によっては、HDRの設定が適切に操作できないことがあります。Windows 10のHDRに関する設定のオン/ オフを確認してください。

- グラフィックカードの性能によっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、文字や写真が正常に表示されない場合があります。
- グラフィックカードによっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、[入力]を変更したり電源をオンにした際に、画面が点滅したりちらつきが発生する場合があります。
- グラフィックスカードおよびゲームが HDR に対応しているかについては、それぞれのメーカーのウェブサイトをご覧ください。

[ゲーム機能設定]

[設定] > [ゲーム機能設定]

- [Overclock] (27GS85Q/27GS85QXのみ)
  - [オン]: パネルの基本仕様よりも高いリフレッシュレートに設定します。
  - [オフ]: [Overclock]をオフにします。
- [Adaptive-Sync]/ [FreeSync]：ゲーミング環境で、シームレスかつ自然な映像を提供します。ゲームの環境によっては、断続的に画面のちらつきが発生する可能性があります。
  - [拡張]：Adaptive-Sync/FreeSync機能の周波数範囲を標準モードよりも広くすることができます。ゲームのプレイ中に画面がちらつくことがあります。
  - [標準]：Adaptive-Sync/FreeSync機能の標準周波数範囲を有効にします。
  - [オフ]：Adaptive-Sync/FreeSync機能がオフになっています。
    - » インターフェイス：DisplayPort（Adaptive-Sync）、HDMI（FreeSync）。
    - » PCおよびグラフィックカード：NVIDIA の G-SYNC® COMPATIBLE または AMD の FreeSync™ テクノロジー に対応するグラフィックカードが必要です。
    - » グラフィックドライバ：最新のデバイスドライバはNVIDIA社またはAMD社のホームページよりダウンロードしてください。
    - » 情報および要件については、NVIDIA の Web サイト（*www.nvidia.com*）および AMD の Web サイト（*www.amd.com*）を参照してください。
- [ブラックスタビライザー]：暗いシーンできれいに見えるように黒のコントラストを制御できます。暗いゲーム画面で物体を簡単に見分けることができます。
- [応答速度]：パネルスペックの応答速度から、オーバードライブ回路で応答速度を高速化させます。
  標準的な環境の場合は、[Fast]を使用することをお勧めします。
  動きの速い映像の場合、[Faster]を使用することをお勧めします。
  [Faster]に設定すると、残像（オーバーシュート）が発生することがあります。その場合は、表示ソースに合わせて適切な速度に設定してください。
  - [Faster]：応答速度を[Faster]に設定します。
  - [Fast]：応答速度を[Fast]に設定します。
  - [Normal]：応答速度を[Normal]に設定します。
  - [オフ]：機能を無効にします。
- [クロスヘア]：FPS（First Person Shooting）ゲームのプレイ用に、画面中央にクロスヘア（十字マーク）を表示します。
  4つの異なるクロスヘアの中から、ゲーム環境に合ったクロスヘアを選択できます。
- [FPSカウンター]
  - [オン]：インジケーターが画面の左上に表示されます。入力時に受信した実際のフレームレートが反映されます。FPSカウンターの位置（左上/右上/右下/左下）を調整することもできます。
  - [オフ]：FPSカウンター機能を使用しません。
- [ゲーム機能設定初期化]：ゲーム機能の設定をリセットします。
  初期化してもよろしいですか？

ヒント

- [FPSカウンター]
  - [FPSカウンター]と[クロスヘア]機能を同時に使用することはできません。
- [Overclock] (27GS85Q/27GS85QXのみ)
  - 設定をオンにした場合は、モニター再起動後に、GPUコントロールパネルでリフレッシュレートの設定を変更します。
  - [Overclock]の機能や性能は、グラフィックカードやゲームコンテンツによって異なります。
  - この機能は弊社が動作を保証する機能ではありません。オーバークロックは自己責任のもと行ってください。万が一有効にすることで生じた不具合等に関しては保証の対象外となります。

[画像調整]

[設定] > [画像調整]

- [明るさ]：画面の明るさを調整します。
- [コントラスト]：画面のコントラストを調整します。
- [シャープネス]：画面のシャープネスを調整します。
- [ガンマ]
  - [モード 1]、[モード 2]、[モード 3]：ガンマ値を補正します。
    「モード 1」に設定すると中間色が明るく、「モード 3」に設定すると中間色が暗く表示されます。
  - [モード 4]：ガンマ値の調整が不要な場合は、[モード 4]を選択してください。
- [色温度]：色温度を設定します。
  - [ユーザー設定]：R（赤）、G（緑）、B（青）で設定したお好みの画質を表示します。
  - [Warm[暖色]]：映像の色合いを、赤みのある6500Kの色温度に設定します。
  - [Medium[中間]]：映像の色合いを7500Kの色温度に設定して、赤と青の間の色調に設定します。
  - [Cool[寒色]]：映像の色合いを、青みのある9300Kの色温度に設定します。
  - [マニュアル]：色温度を微調整することができます。
- [R/G/B]：R（赤）G（緑）B（青）各色の強弱を手動で設定します。
- [6色相環]：6 色相環（赤、緑、青、シアン、マゼンタ、イエロー）の色合い、彩度を調整して、より詳細にお好みの色を設定できます。
  - 色合い：各色の色相を調節します。
  - 彩度：各色の彩度を調整します。値を低くすると、彩度が下がり、色は明るくなります。値を高くすると、彩度が上がり、色は暗くなります。
- [ブラックレベル]：オフセットレベルを設定します（HDMIのみ）。
  オフセット：映像信号の基準として、これがモニターで表示できる最も暗い色です。
  - [High]：映像信号の情報をそのまま表示します。
  - [Low]：暗い部分をより暗くして、シャープな色合いで表示されます。
- [可変バックライト] (27GS85Q/27GS85QXのみ)
  映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動的に調整します。
  - [オフ]：可変バックライトをオフにして、[明るさ]で設定した値で表示します。
  - [Normal]：動画再生やインターネットまたは作業時にお薦めします。
  - [Fast]：ゲーム機などにお薦めします。
  - [Faster]：動きの速いPCゲームなどにお薦めします。
- [DFC]
  - [オン]：明るさとコントラストを映像に合わせて自動的に調整します。
  - [オフ]：DFC 機能を無効にします。
- [ピクチャーモード初期化]：画像調整の設定値を初期設定（工場出荷時の設定）に戻します。

ヒント

- [可変バックライト] (27GS85Q/27GS85QXのみ)
  - 本機能を有効にしたとき、わずかなハロー効果が表示される場合がありますが、故障や動作不良ではありません。
  - 本機能はHDRのコンテンツ再生時のみ使用できます。
  - ゲーム以外の用途では本機能をオフにすることをお勧めします。

[入力]

[設定] > [入力]

- [入力選択]：各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。
- [アスペクト比]：画面の縦横比を調整します。
- [自動入力切替]：[自動入力切替] を [オン] に設定すると、新しい入力が接続されたときに、表示が自動的に切り替わります。

[全般]

[設定] > [全般]

- [言語]：OSD メニューなど、画面に表示される言語を選択します。
- [ユーザー定義キー1]/[ユーザー定義キー2]：メインメニューをカスタマイズして、お好みのメニューに簡単にアクセスできます。メインメニューの左/右に[ユーザー定義キー1]と[ユーザー定義キー2]が表示されます。
- [SMART ENERGY SAVING]：輝度補正アルゴリズムを用いて消費電力を抑えます。
  - [High]：[SMART ENERGY SAVING]によって、より効率的に消費電力を抑えます。
  - [Low]：[SMART ENERGY SAVING]によって、消費電力を抑えます。
  - [オフ]：機能を無効にします。
  - 省エネの数値はパネルの種類やパネルの製造メーカーによって異なる場合があります。
  - [SMART ENERGY SAVING]の設定が[High]または[Low]になっている場合、映像ソースによって輝度が変化します。
- [ディープスリープモード]：[ディープスリープモード]をオンに設定すると、待機状態時の消費電力を最小限に抑えます。
  - [オン]：[ディープスリープモード]を有効にします。
  - [オフ]：[ディープスリープモード]を無効にします。
- [電源LED]：電源LED機能をオンにした場合の動作は次のとおりです。
  - 電源がオンのとき：点灯
  - スリープモード（スタンバイモード）：点滅
  - 電源がオフのとき：オフ

- [自動スタンバイ]：モニターを一定の間操作しないと、モニターは自動的にスタンバイモードに切り替わります。
- [入力互換性バージョン]：入力互換性バージョンを、した外部デバイスと同じバージョンに設定します。
  - DisplayPort入力の場合、HDR機能を使用するには1.4に設定する。
  - HDMI入力の場合、HDR機能を使用するには2.0に設定する。
- [Beep音]：モニター起動時に鳴るビープ音のオン、オフを設定できます。
- [OSDロック]：設定可能な項目を制限します。
  [画像調整] の [明るさ]、[コントラスト] および [全般] の [入力]、[OSDロック]、[表示情報]以外のすべての機能を無効にします。
- [表示情報]：次の情報が表示されます：[電源投入時間合計]、[解像度]。
- [オープンソースソフトウェアライセンス]：[ビュー]を選択すると、オープンソースソフトウェアの通知情報を確認できます。
- [初期化]：初期設定（工場出荷時の設定）に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。

トラブルシューティング

画面に何も表示されない。

- 電源が入らない
  - 電源コードがコンセントに正しく差し込まれているか確認してください。
- モニターのアダプターは差し込まれていますか?
  - 必ず製品パッケージ付属のアダプターを使用してください。
- 電源LEDは点灯していますか
  - 電源コードの接続を確認し、電源ボタンを押します。
- 電源をオンにして、電源ランプが点灯しているのに画面が映らない
  - 接続された入力が有効になっていることを確認します([設定] > [入力])。
- 電源ランプが点滅している
  - モニターがスリープモードになっている場合は、マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキーを押して、表示をオンに切り替えます。
  - コンピューターの電源が入っているかどうか確認します。
- [推奨解像度での表示をおすすめします。] というメッセージが表示されている
  - このメッセージは、PC(グラフィックカード)からの信号が、本製品の推奨される水平または垂直周波数範囲を超えている場合に表示されます。この取扱説明書の製品仕様を参照して、適切な周波数を設定してください。
- 画面に[信号が見つかりません。]と表示される。あるいは、画面が表示されない
  - 信号ケーブルが接続されていないときに表示されます。PC またはモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。(本製品付属のケーブルの使用をお勧めします)
- 画面に[範囲超過]と表示される
  - このメッセージは、PC(グラフィックカード)からの信号が、本製品の水平または垂直周波数範囲を超えている場合に表示されます。この取扱説明書の「製品仕様」を参照して、適切な周波数を設定してください。

OSで「モニターが認識されません。Plug and Play (VESA DDC) のモニターが見つかりました」というメッセージが表示される

- OSで正しく設定できない
  - 弊社のWebサイト(*www.lg.com*)からディスプレイドライバーをインストールしてください。
  - グラフィックカードが Plug and Play 機能に対応しているかどうかを確認してください。

画面表示が安定せずに揺れる。ゴーストが表示される

- 画面がちらつく
  - 選択した解像度がHDMI 1080i 60/50 Hz（インターレース）の場合、画面がちらつくことがあります。解像度を1080pまたは推奨解像度に変更してください。
- モニターの電源をオフにして残像が見える
  - 静止画像を長時間表示すると、画面が損傷して残像が生じることがあります。
  - モニターを長時間使用する場合は、OS でスクリーンセーバーを設定して、長時間同じ画像、映像を映さないようにしてください。
- 画面上に小さな点が表示される
  - モニターを使用しているとき、画面上にピクセル化されたスポット（赤、緑、青、白、黒）が表示されることがあります。これはLCD画面では正常です。これはエラーでもなく、モニターの性能にも関係しません。

画面の色が正常に表示されません。

- 正常な色合いで表示されない
  - 画面の表示色数を24ビット（True Color）以上に設定してください。Windows の コントロールパネル > ディスプレイ > 設定 > 色調 に移動します。（OSや再生ソフトウェア等によって設定方法が異なります）
- 表示色が不安定に表示されるか、モノクロで表示される
  - 信号ケーブルが正しく接続されているか確認してください。または、PCのグラフィックカードが正しく挿入されているか確認してください。
- 画面上に小さな点が表示される
  - モニターを使用しているとき、画面上にピクセル化されたスポット（赤、緑、青、白、黒）が表示されることがあります。これはLCD画面では正常です。これはエラーでもなく、モニターの性能にも関係しません。

一部のOSDメニューの設定ができない

- OSD で設定できない項目がある
  - OSDがロックされています。[全般]で[OSDロック]を[オフ]に設定します。

音声が出力されない

- ヘッドホン端子に接続した音声機器から音声が出力されない（音が聞こえない）
  - ヘッドホン端子に外部音声出力機器が正しく接続されているか確認してください。
  - モニターの音量の設定が「ミュート」または「0」になっていないか確認してください。
  - WindowsやPCの再生ソフトウェアの音量を確認してください。Windowsのコントロールパネルを開き、ハードウェアとサウンド > サウンドの順に選択して、モニターを既定のデバイスとして設定します。（OSや再生ソフトウェア等によって設定方法が異なります）

製品仕様

仕様は事前の通知なしに変更されることがあります。
~記号は交流を意味します。⎓記号は直流を意味します。

色深度:
- HDMI:8ビット/10ビット/12ビットカラーがサポートされています。
- DisplayPort:10ビットカラーがサポートされています。

27GS85Q/27GS85QX

解像度
- 最大解像度:
  - 2560 x 1440 @ 144Hz (HDMI)
  - 2560 x 1440 @ 200 (DisplayPort)
- 推奨解像度:
  - 2560 x 1440 @ 144Hz (HDMI)
  - 2560 x 1440 @ 180Hz (DisplayPort)

AC/DCアダプター
- 出力:19V ⎓ 3.42A

環境条件
- 動作条件
  - 温度:0°C~40°C
  - 湿度:80%未満
- 保管条件
  - 温度:-20°C~60°C
  - 湿度:85%未満

寸法:モニターサイズ(幅 x 高さ x 奥行)
- スタンドあり(mm):613.5 x 577.7 x 253.7
- スタンドなし(mm):613.5 x 371.6 x 51.3

重量(パッケージを除く)
- スタンドあり(kg):6.2
- スタンドなし(kg):4.1

電源
- 電源定格:19V ⎓ 3.3A

32GS85Q/32GS85QX

解像度

- 最大解像度:
  - 2560 x 1440 @ 144Hz (HDMI)
  - 2560 x 1440 @ 180Hz (DisplayPort)
- 推奨解像度:
  - 2560 x 1440 @ 144Hz (HDMI)
  - 2560 x 1440 @ 180Hz (DisplayPort)

AC/DCアダプター

- 出力:19V ⎓ 3.42A

環境条件

- 動作条件
  - 温度:0°C～40°C
  - 湿度:80%未満
- 保管条件
  - 温度:-20°C～60°C
  - 湿度:85%未満

寸法:モニターサイズ(幅 x 高さ x 奥行)

- スタンドあり(mm):713.9 x 611 x 253.7
- スタンドなし(mm):713.9 x 428.2 x 54

重量(パッケージを除く)

- スタンドあり(kg):7.5
- スタンドなし(kg):5.6

電源

- 電源定格:19V ⎓ 3.3A

対応モード

（プリセットモード、HDMI）

解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	極性（H/V）	備考
640 x 480	31.469	59.940	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60.004	-/-	
1920 x 1080	67.500	60.000	+/+	
2560 x 1440	88.787	59.951	+/-	推奨タイミング - 入力互換性バージョン : 1.4
2560 x 1440	111.857	74.971	+/-	
2560 x 1440	182.996	119.998	+/-	
2560 x 1440	218.290	143.991	+/-	推奨タイミング - 入力互換性バージョン : 2.0

（プリセットモード、DisplayPort）

解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	極性（H/V）	備考
640 x 480	31.469	59.940	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60.004	-/-	
1920 x 1080	67.500	60.000	+/+	
2560 x 1440	88.787	59.951	+/-	
2560 x 1440	150.919	99.946	+/-	
2560 x 1440	182.996	119.998	+/-	
2560 x 1440	222.151	143.973	+/-	推奨タイミング - 入力互換性バージョン : 1.2
2560 x 1440	257.327	165.059	+/-	
2560 x 1440	282.879	180.063	+/-	推奨タイミング - 入力互換性バージョン : 1.4
2560 x 1440 (27GS85Q/27GS85QXのみ)	315.221	200.013	+/-	推奨タイミング - 入力互換性バージョン : 1.4 (O.C)

HDMIタイミング（動画）

解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	備考
480P	31.5	60	
720P	45	60	
1080P	67.5	60	
1080P	135	120	
2160P	135	60	



製品のモデルと製造番号は背面と側面にあります。
サポートが必要になったときのため、下記にご記入ください。

モデル _____

製造番号 _____